

主題名「責任と規律ある行動」

教材名『会話のゆくえ』

学習指導者 やの としゆき 矢野 利幸

自分たちのインターネットで友達と関わった経験と教材文をつなぎ、正しく関わるためにはどんな心が大切かを考えていきました。

登場人物の問題点から、正しく関わるために大切な心を、「自分の言葉に責任をもつ心」「きちんと伝える心」「相手の気持ちを考える心」「悪いことを止める心」の四つにまとめました。そして、自分が一番大切にしたい心を選び、選んだ心が一目で分かるようにキーワードと色を対応させた「色いろ交流カード」を用いて、友達と選んだ理由を対話していきました。振り返りでは、「友達の考えを聞くことで『相手の気持ちを考える心』も大切だと思った。これからも、相手のことを考えて、責任をもって発言していきたい。」などと、自分の課題に気付いて、実生活に生かしていこうとする姿が見られました。



ぼくが、一番大切にしたい心は、『相手の気持ちを考える心』だよ。なぜなら…

考察

- 「色いろ交流カード」で、考えの違いを視覚的に示すことが、活発な対話につながった。
- 教材文から責任と規律ある行動についての価値をキーワード化するのに時間がかかってしまい、自分を振り返って考える時間が短くなってしまった。また、多面的・多角的に考えている子供の姿を価値付けることも大切だった。子供の発言から意図をくみ取り、整理して問い返す教師の価値付けが大切である。